

真田宝物館收藏品目録

真田家旧蔵資料目録

— 能楽・樂器 —



真田宝物館収蔵品目録

真田家旧蔵資料目録

— 能楽・樂器 —

松代文化施設等管理事務所

目次

図版編 1

資料編

解題 48

資料翻刻 50

資料データ 58

凡例

- 一、本目録は、真田宝物館（長野市教育委員会文化財課 松代文化施設等管理事務所）が所蔵する真田家伝来資料のうち、能楽および楽器に分類されるものを収録したものである。
- 一、本目録の配列は、真田宝物館収蔵番号順である。
- 一、資料写真の下に収蔵番号、資料名、寸法の順に記載した。
- 一、資料名・寸法（縦・横・高 単位/cm）は収蔵台帳によったが、適宜改めた。
- 一、傷みが激しいものは寸法を取っていない。
- 一、資料名については、今後の研究によって改められる可能性もある。
- 一、収蔵番号は、資料固有の番号である。
- 一、本目録の写真は、高久良一氏に撮影を委託したほか、当所所蔵の原版を使用した。
- 一、本目録の編集は当所専門員・山中さゆりがあたり、学芸員・降幡浩樹、専門員・溝邊いずみ、塚原由実、職員・小山万里の協力を得た。
- 一、資料編については、変体かなはひらがなに、旧字・異体字は常用漢字に改めた。また、判読不能の文字は□で表した。

◆
図
版
編

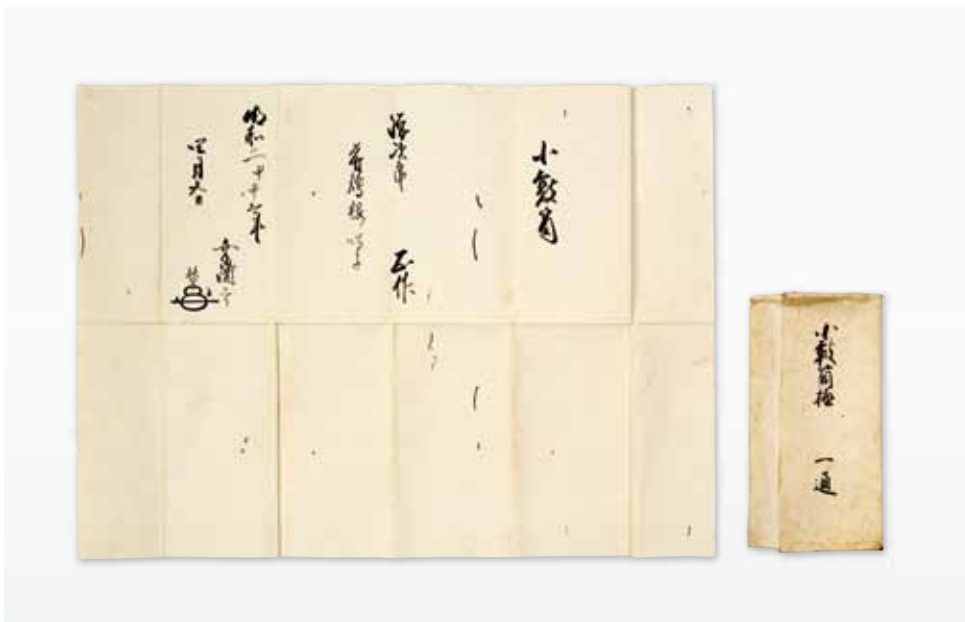
能

楽





能楽 1
小鼓筒 黒漆桜鳴子蒔絵 伝真田幸弘所用



付属文書



能楽2 小鼓筒 伝真田幸弘所用
黒地鬼瓦蒔絵 25.0 × 10.2 黒地桜二井桁蒔絵 24.7 × 10.2
黒地稲鳴子蒔絵 25.0 × 10.2 梨子地水仙蒔絵 25.0 × 10.2



能楽3 小鼓筒 梨子地尾長鳥蒔絵
25.0 × 10.0



能楽4 小鼓筒 七五三蒔絵 伝真田幸弘所用
25.0 × 10.0



能楽5 小鼓筒 黒塗烏兜蒔絵 伝真田幸弘所用
25.0 × 10.0



能楽6 小鼓筒
楽器蒔絵 25.0 × 10.0 蓑亀蒔絵 25.0 × 10.2



能楽7 大鼓筒 黒塗銀杏梅蒔絵
28.5 × 11.8



能楽8 大鼓筒 小鼓筒
大 28.5 × 11.7 小 25.0 × 10.0



能楽9 中啓合同箱蓋裏書



能楽9-1 中啓(舞扇)金地人物藤花図
35.0



能楽9-2 中啓(舞扇)金地貝図
35.0



能楽9-3 中啓（舞扇）金地人物金花鳥図
35.0



能楽9-4 中啓（舞扇）金地柳に鶯図
35.0



能楽9-5 中啓（舞扇）赤地花図
35.0



能楽 10 中啓（狂言）金銀地
31.5



能楽 10 中啓 (狂言) 笹図
32.0



能楽 11 お能ふせ

108.3 × 98.1 表紙 33.0 × 18.2 木札 全 228 枚 6.8 × 3.2



能楽 12 龍頭 圓明院（真田幸貫養子・幸忠）所用
全長 45.0 × 高 17.0



能楽 13 能薙刀 2点
上 204.5 下 206.5



能楽 14 唐織 赤地錦菊水金襴 伝真田信弘所用



能楽 15 狩衣 藍地錦宝相華金襴 伝真田信弘所用



能楽 16 半切 赤地錦獅子に牡丹の丸金襴 伝真田信弘所用



能楽 17 長絹 黄絹地牡丹南天垣葛模様



一 姥杢面	大正七改	壹
一 大飛出面	大正七改	壹
一 深井面	大正七改	壹
一 鷹 一 夕力面	現品ナシ 七年改	壹
一 大癒見面	大正七改	壹
一 小癒見面	大正七改	壹
一 勝式面 喝食	大正七改	壹
合七面入		
宝曆十年 辰六月		

能樂 番外 能面箱

◆ 凶版編

樂

器





楽器1 琵琶 撫子模様袋入り 伝真田幸弘所用 書付三通添
78.2 × 33.0



楽器2 琵琶
102.0 × 43.0



楽器3 琵琶
94.0 × 37.0



楽器4 月琴
65.0 × 35.5



楽器5 月琴
68.0 × 37.0



楽器6 笙 黒塗群山蒔絵
本体 50.0 × 9.0 外筒 54.0 × 11.6



楽器7 笙 黒塗桜花流水蒔絵 銘 子規
53.0 × 9.5



楽器8 簞箏
24.2 × 1.5 家 32.5 × 4.0



楽器9 洞簫
44.5 × 2.6



楽器 10 洞簫 銘「江上清風 山間明月」
43.6 × 2.7
箱書蓋表「洞簫 七十五松濤軒松叟」
箱書蓋裏「時鳥啼や寝覚の夜の友 七十六翁立左」



楽器 11 龍笛 宝鏡院（真田信安弟・藝信）所用
40.0 × 2.5



楽器 12 龍笛 筒 総梨子地定紋付口銀張
39.0 × 2.5 笛筒 39.5 × 3.3



楽器 13 竜笛 水晶嵌込 筒 青貝擢地雲形蒔絵
39.5 × 2.5 笛筒 43.0 × 4.0



楽器 14 高麗笛 筒 青貝擢地雲形蒔絵
37.5 × 11.7 笛筒 43.0 × 2.7



楽器 15 横笛 銘「月傍関山幾処明／あまたてる 月乃呂律の帰リミチ」
40.0 × 1.6



楽器 16 横笛
43.0 × 1.6



楽器 17 横笛
大 39.5 × 2.4 小 34.3 × 1.8



楽器 18 和笛
43.7 × 1.7



楽器 19 明笛
65.0 × 1.9



楽器 20 一節切 銘「夕霧」
33.3 × 3.8



楽器 21 一節切
33.7 × 3.9



楽器 22 笏拍子
37.4 × 3.3



楽器 24 釣太鼓 金地桐に鳳凰模様
128.0 × 68.0



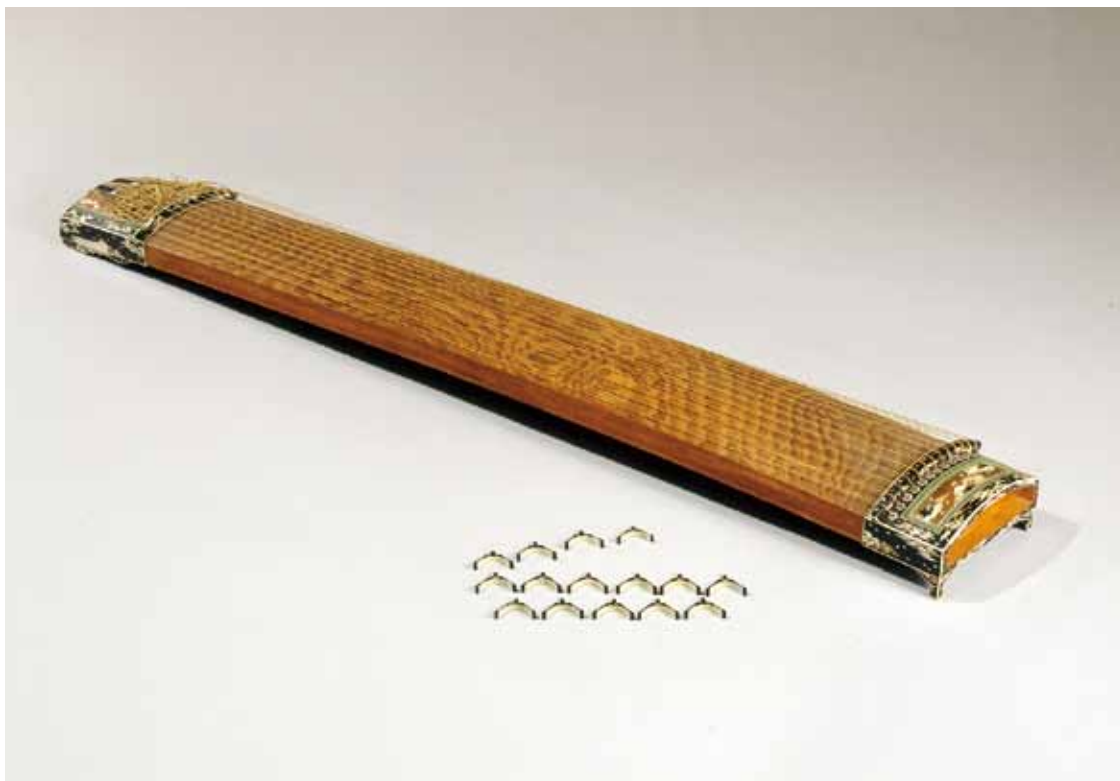
楽器 23 釣太鼓 金地狂獅子牡丹模様
131.0 × 62.0



楽器 25 羯鼓 金地桐に鳳凰模様
32.0 × 25.0 撥 37.0 × 1.2



楽器 26 羯鼓
33.0 × 25.5



楽器 27 楽箏 中山希明作
銘「天保七丙申年 / 十二月吉日 / 行年七十二歳 / 中山希明作」
192.5 × 26.0



楽器 28 楽箏 銘「□□石見守吉治」
192.5 × 25.0



楽器 29 和琴 中山希明作
 銘「嘉永二年酉二月吉日東叡山御庭以木作之
 東都御用御樂器師行年七十三翁」
 195.5 × 26.0



楽器 30 和琴
 187.0 × 23.5



楽器 31 一弦琴 銘「清風流泉／水月樓藏」
 111.5 × 12.0



楽器 32 琴

銘「元製隨松代侯意 而添中山希明考石村秀門作 更徑山井景富正全成 于時
天保三年壬辰六月加治胤禎書」

151.0 × 19.0



楽器 33 琴 二面
上 118.5 × 20.5 下 89.0 × 15.5



楽器 34 琴 真田幸正夫人所用
187.0 × 26.5



楽器 35 筑紫箏
192.0 × 27.0



楽器 36 筑紫箏
191.0 × 26.5



楽器 37 筑紫箏
116.0 × 25.0



楽器 38 太鼓
幅 15.5 × 径 35.0 撥 33.3 × 27.0



楽器 39 下座道具 太鼓筒
28.7 × 11.7



楽器 40 下座道具 小鼓筒
25.0 × 10.2



楽器 41 下座道具 小鼓筒
黒塗蕪蒔絵 25.0 × 10.0
黒塗籠目散に木の葉蒔絵 25.0 × 10.0



楽器 42 拍子木
榲 19.5 × 2.5 × 2.2 黒柿 20.3 × 3.5 × 3.7



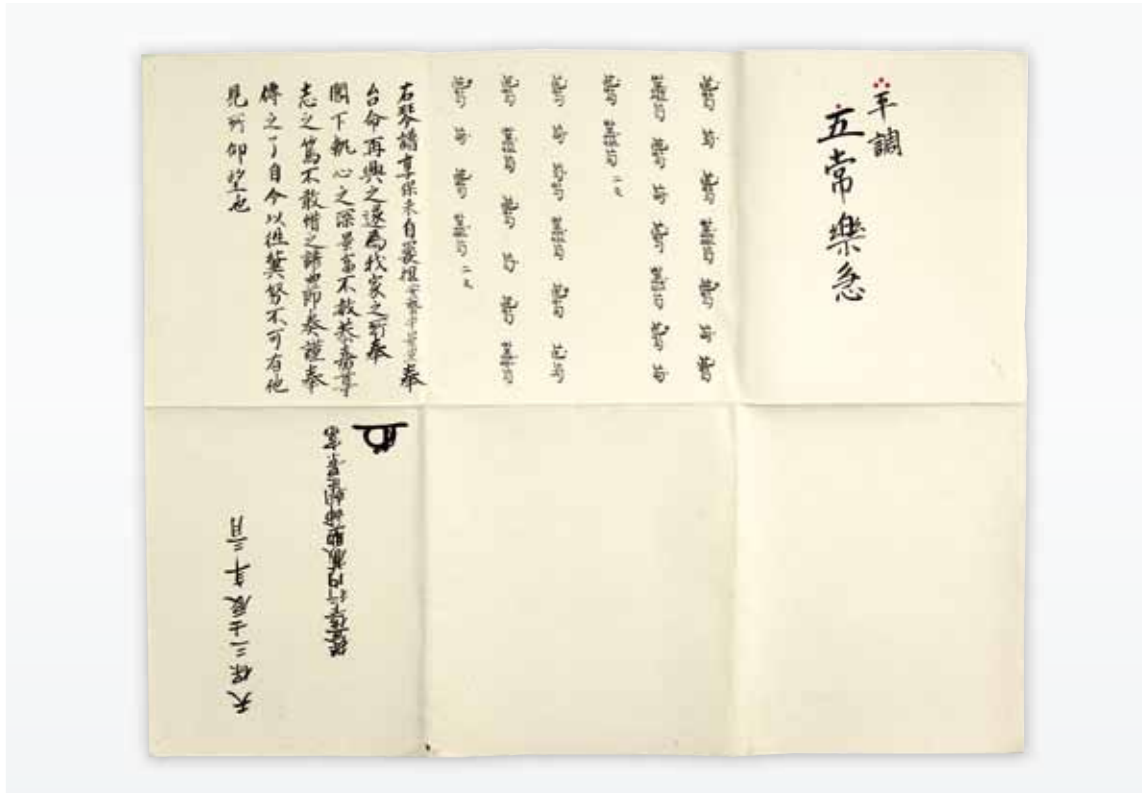
楽器 43 胡弓
69.0 × 13.0



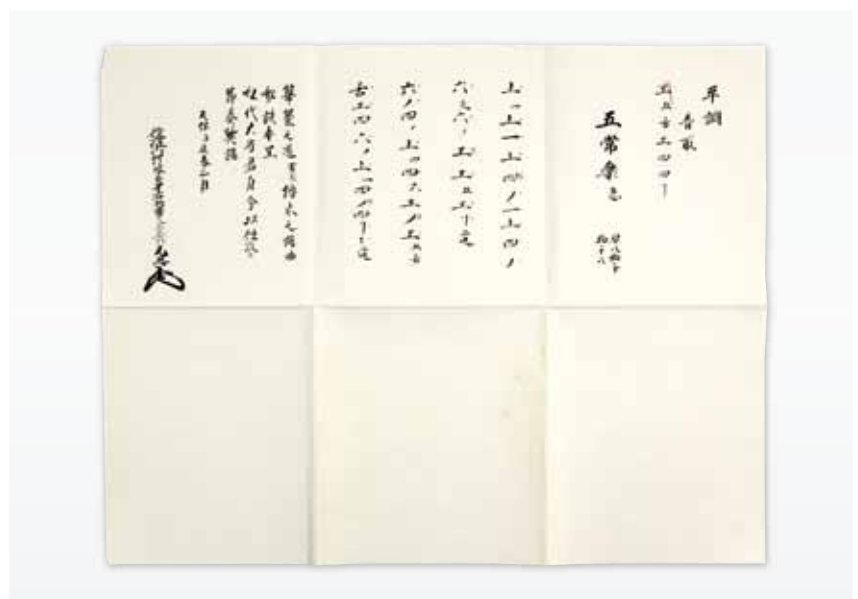
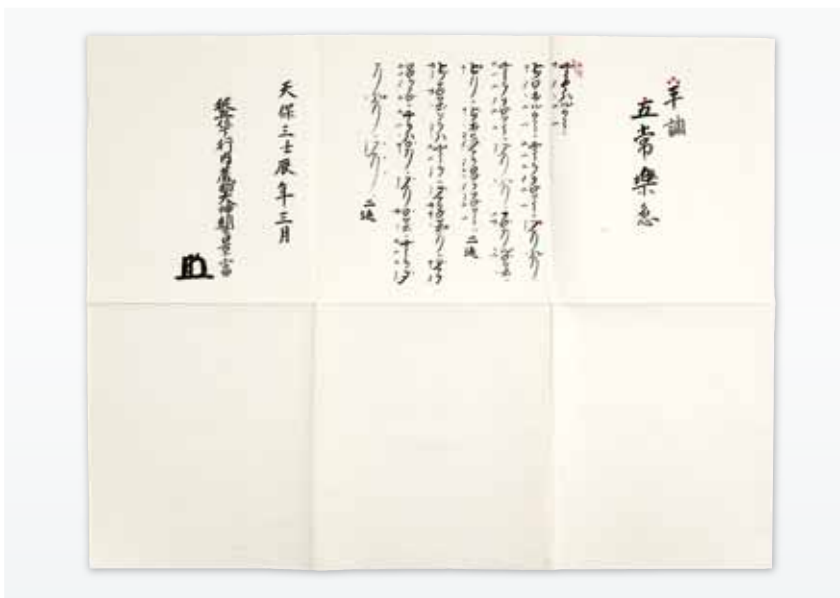
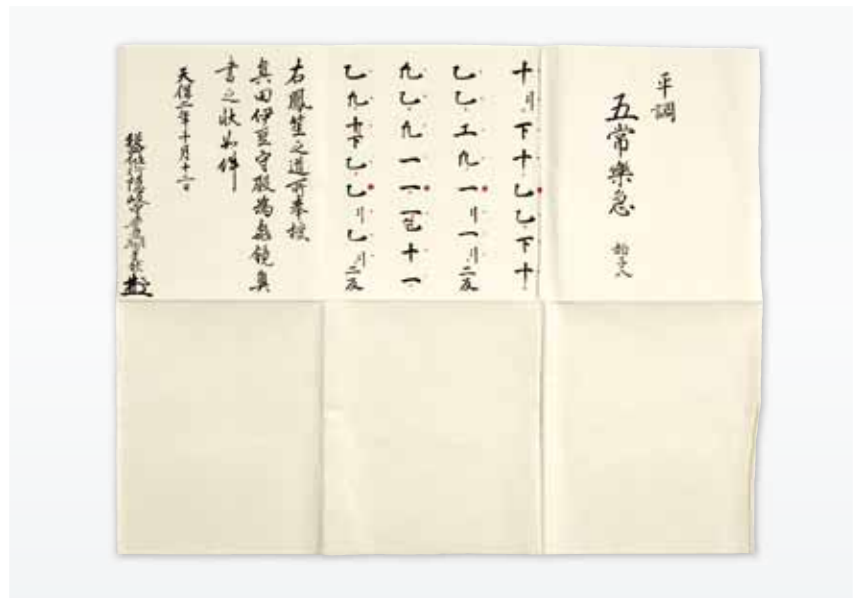
楽器 44 稽古三味線
96.5 × 18.5



楽器 45 楽譜 金花鳥色蒔絵箱入



楽器 46 楽譜 伝真田幸貫手沢品





楽器 47 楽譜 笙調子書物 伝真田幸貫手沢品



楽器 48 琴の品 他

資料編

解題

一、目録に収録した資料について

本目録は、真田宝物館が所蔵する真田家伝来資料のうち「能楽」と「楽器」に分類されているものすべてを収録したものである。また、現在は空箱であるが、もとは能面が収納されていたとみられる箱も、番外として収録した。

『真田宝物館収蔵品目録』はこれまでに絵画や古文書、服飾など数冊が発行されている。そのなかで逐一述べてきたように、現在の真田宝物館所蔵資料の分類は、江戸時代における真田家および松代藩の道具類の整理・分類を示すものではない。道具類の整理・分類は、江戸時代からたびたび行われ、それにもなつて作成された道具帳が多数現存している。江戸時代から現代に至るまでの道具類の整理・分類を明らかにするためにも、道具帳の分析を進めることが必要不可欠である。そのためにも、まず現在の分類方法に基づいた目録を作成した。

今回取り上げた資料については、平成十五年度企画展「真田家の茶の湯と能」図録で部分的に取り上げているが、「能楽」「楽器」に分類されている資料を網羅していないため、本目録ですべての資料写真を掲載した。巻末には、「能楽」「楽器」に分類されている資料の、箱書きやラベルなどのデータを一覧にし、あわせて関係する道具帳の翻刻を掲載した。こちらも番外として、能面が収納されていたとみられる空箱と、唐織（能楽14）が収納されていたとみられる空箱をあわせて記載した。

二、真田家伝来の能楽と楽器資料の特徴

能楽に分類されている資料は、現在十七件である。このうち、小鼓筒の

多くは六代藩主・真田幸弘の所用とされている。また、能装束については四代藩主・真田信弘の所用と伝わるものが多い。能装束は、太平洋戦争の後、真田家から能楽の喜多流に譲られたものが多いといわれ、平成十五年度の企画展では、真田家伝来の能装束が、喜多家から出品されている。

楽器に分類されている資料は四十八件である。使用者が伝わるものはないが、美しい蒔絵が施された笙や、螺鈿の装飾がある琴なども含まれている。楽器1は、真田幸弘所用と伝わる琵琶であるが、これには書付が三通付属している。正中二年（一三二五）と延宝三年（一六七五）と書かれたもの、宝暦三年（一七五三）に琵琶の繕いを行ったことなどが書かれているものなどであるが、詳しいことは不明である。また、楽器10洞簫は、箱書に「松濤軒松叟」とあり、松代藩士で俳人としても知られる寺内多宮のものとみられる句が書かれている。しかし、真田家に伝来した経緯については不明である。

三、現在の収蔵形態と箱書およびラベル情報

「能楽」「楽器」に分類されている資料は、現在、真田宝物館収蔵庫に収められている。真田家伝来の資料は、江戸時代以降松代の真田家別邸（真田邸）庭園にある土蔵七棟に収蔵・保管されてきた。真田家から長野市に資料が譲られた昭和四一年以降も資料はそのまま真田邸土蔵に置かれ、昭和四四年の真田宝物館開館を経て、昭和六三年に収蔵庫が完成してから順次移動されたものである。

「能楽」「楽器」資料の多くは専用の箱に入れられている。箱には現在の資料ラベル（現用ラベル）が貼られ、同様のラベルが資料そのものにも貼られたり、あるいは紐で括られるなどして付けられている。服飾、遊具など他の資料の場合、現用ラベルの下に旧ラベルが貼られていることが多いが、「能楽」「楽器」については旧ラベルがないものが多い。現用ラベルは、市の所有となった昭和四一年以降貼られたものであるが、旧ラベルはいつのものか分からない。現用ラベルには、資料名や資料の材質・所用者などのほかに、現在の収蔵庫に移される以前の、真田邸土蔵における収

納場所が書かれている。また、真田家所蔵と印刷された楕円形ラベル（資料データ写真②）が貼られているもの、箱に貼紙があるものなど、様々な付属品やラベルがあるが、比較的数量が少ない。能装束に関しては、直径一・五cmほどの丸型タグ（資料データ写真①）が付けられ、番号が書かれているものがあるが、現用の資料番号とは異なる。真田宝物館には、真田家から資料が譲られた昭和四一年頃に作成されたと思われる資料台帳（旧台帳）があるが、この台帳の資料番号とも一致しない。この旧台帳には、能楽・楽器ともに三番土蔵の二階に収納されていたことが書かれている。しかし、能装束は、能楽とは別に「能装束」という分類で、一番土蔵に置かれていたと書かれており、別の扱いであったと考えられる。

楽器6の笙は、外箱に「笙 青貝文書箱」と書かれている。この見せ消しとなっている「青貝文書箱」は現在、調度178に現存する文書箱とみられ、もとはこの文書箱が入っていたと考えられる。旧台帳には、この笙について「中箱は青貝樓閣山水人物」と書かれており、文書箱に笙が入れていた可能性もある。しかしいつしか紛れて笙が入れられたのか、あるいはもともとから笙の収納箱であったのかは判断できない。

個々の資料については今後旧台帳の検討や、他の資料との比較によって、新たな発見があると考えたい。

四、道具帳との比較

巻末にあげた資料のうち、能楽に関するものは嘉永七年十一月の年記がある「御預御道具帳」（国文学研究資料館真田家寄託資料一五一一）である。また、楽器に関するものは、明治十三年九月に作成された「第三番御土蔵御二階 仮御道具帳」（同所真田家寄託資料一二四一）の一部である。現存する資料は、翻刻の記述部分下に資料番号を記載した。この二冊の道具帳は、真田家の道具が大々的に整理された大正七年に、松代の真田家別邸（真田邸）で道具の管理をしていた家令・河原理助から、整理を担当する整理委員の成沢九十九へ引継がれたものと考えられる（原田和彦「真田家伝来の大名道具と道具帳」真田家大名道具論（1）（『松代13号』

1999年）。すなわち、大正七年の段階での現用道具帳といえ、この時に現存していた資料がうかがえる。

このうち楽器に関する記述のある「第三番御土蔵御二階 仮御道具帳」には「御楽器」として、北御土蔵二階第六番御長棹入から八番御長棹まで、三つの長棹（長持）に収納されていたことがわかる。この時点では北御土蔵が第三番御土蔵と同義であることもわかる。

現用ラベルの記載を見ると、第三番倉庫階上十八号長棹から二十号長棹までの三つの長棹（長持）に収納されており、長持の番号は異なるが、長持三分であることは変わりが無い。また、資料紹介した楽器類の部分以外にも「第三番御土蔵御二階 仮御道具帳」には、北御土蔵梁上御品として、琴二箱、和琴壺箱など、大型のものが梁上に別置されていたことが見えている。現用ラベルの記載にも、大型の和琴などが梁上に置かれていたことが書かれているので、こうした収納も明治時代から引き継がれていると思われる。

おわりに

以上、データと資料から読み取れることを述べてきた。いずれも断片的な情報のため、はつきりしないことが多い。また、大量に伝来する道具帳に分散して掲載されている資料については、調査することができなかった。しかし、今後、分類毎の資料目録を作成することによって、さまざまなラベルや貼紙を整理して判明することは、多いと考える。それとともに道具帳の精査と、道具（資料）との対照作業および分析を進め、真田家旧蔵資料の伝来についてさらに詳しく解明していきたい。

（文責 山中さゆり）

資料翻刻

第三番御土蔵御二階 仮御道具帳

明治十三年庚辰九月

(真田家寄託一二四一二)

- ① 一洞簫 式管入 壱箱
- ① 一鳳軒(筆簞) 壱箱

(後略)

同第七番御長棹入

① 一柳川御文庫 御譜入

御楽器類 壱箱 楽器45?

① 一横笛 明治三十年七月十日 竹御箱入 壱箱

高麗笛 幸世様工御送二相成候

嘉永七寅年十一月

御預御道具帳 表御納戸

(真田家寄託文書一一五一一)

(前略)

北御土蔵二階第六番御長棹入

御楽器

① 一火烟太鼓 内一ツ諸所損し 二

楽器23・24

① 一羯鼓 此分ハ舞楽ノモノナリ

壱

但台添

① 一琵琶 但台添

壱面

① 一黒無地大鞆筒

壱挺

① 一同断小鼓筒

壱挺

四五本

○ 一御笛八管入

壱箱

① 一御袋入明笛

壱管

① 一羯鼓 此分ハ舞楽ノモノナリ

壱箱

① 一同臺 此分ハ舞楽ノモノナリ

壱箱

① 一小鼓

壱箱

① 一同断

壱箱

① 一同断

壱箱

① 一大鼓筒

壱箱

① 一一節切

壱箱

① 一笙

壱箱

(貼紙)「金井拝借」

一横笛

壱箱

高麗笛

但御箱秋野二鹿時絵

但筒箱成り

宝鏡院様御持

但筒箱成り

① 一横笛

壱箱

楽器11

但黒塗南天金時絵付御箱入

壱箱

楽器11

御楽器類

壱箱

楽器45?

壱箱

壱箱

壱箱

壱箱

壱箱

壱箱

壱箱

壱箱

壱箱

壱箱

壱箱

壱箱

壱箱

壱箱

壱箱

壱箱

壱箱

壱箱

壱箱

壱箱

壱箱

壱箱

壱箱

壱箱

壱箱

壱箱

壱箱

壱箱

壱箱

御召料

一 唐織御小袖

箱入 壱ツ

能14

一 但金地菊水模様裏紅海気

一 唐織小袖

壱ツ

一 但地色飛紅白染分菊二薄梅松格子模様裏右同断

一 但地色飛紅淺黄染分藤棚之惣模様裏右同断

一 唐織小袖

壱ツ

一 但地色飛萌黄紅染分牡丹萩之模様金入大格子縞裏

一 紅海気

壱ツ

(付箋)「無」乙亥御家令より 七月廿二日出ス」

一 同

壱ツ

一 但地色萌黄龍田川之模様裏焦茶絹

一 同

壱ツ

一 但地色浅黄黄金入格子縞梅包花之惣模様裏紅海気

一 色無シ唐織小袖

壱ツ

一 但地花色白飛染分桐のとう唐草蝶之模様裏右同断

一 同

壱ツ

一 但地色焦茶黄色浅黄染分亀甲根笹菊二籬之模様裏

一 右同断

壱ツ

一 一段唐織小袖

壱ツ

一 但地色紅萌黄飛白染分萩二蒲萄棚之模様裏右同断

一 同

壱ツ

一 厚板唐織小袖 壹ツ 裏紅絹 但裏之方七ヶ所損有之 (付箋)「紫紐」能17

一 但赤地金入浪之丸ニ我妻形模様裏紅海氣 一 箔御上着 壹ツ 但白綸子八ッ藤模様摺箔裏白絹 但染有之 右同断

一 厚板小袖 壹ツ 箔小袖 壹ツ 但地緋縞子縞桜摺箔裾浅黄青海浪摺箔裏紅海氣 紐右同断

一 但地花色白鱗形模様桐のとう雲形裏右同断 壹ツ 但地白緋藤巴摺箔裏白絹 但裾之方無地裏所々損有之 一 同

一 但地飛萌黄白中格子縞裏紫絹 裏ニ損有之 壹ツ 一 子方薄衣 壹ツ 但地同断飛色桐のとう唐草織入紐右同断

一 但地白ニ雲籠之模様裏紅海氣 壹ツ 但地絹白無垢振袖 壹ツ 但地同断飛色金ニ而折枝短冊我妻形織入装束真紅

一 但地色萌黄我妻形桐のとう模様裏右同断 壹ツ 熨斗目 壹ツ 但地洞織飛色若松ニ蜻蛉装束真紅

一 但地色萌黄紅黄色染分紋尽模様裏紫絹 壹ツ 裏萌黄絹 壹ツ 但損有之 一 同

一 但地格子縞萌黄紅黄色染分紋尽模様裏紫絹 壹ツ 但地花色腰明萌黄飛格子縞振袖綿入裏浅黄絹 但所々損切継有之 御召料

一 厚板小袖 壹ツ 但地花色腰明萌黄飛格子縞振袖綿入裏浅黄絹 但右同断 壹ツ 一 法被

一 小格子厚板小袖 壹ツ 但煎菜茶無地綿入裏浅黄絹 但右同断 壹ツ 但赤地金入牡丹丸獅子丸模様裏紫絹

一 但黒茶紺縞縞桐のとう模様織入裏右同断 壹ツ 但地色萌黄肩ニ白の筋付腰錆色無地裏錆色 但袖切継有之 一 同

一 大格子厚板小袖 壹ツ 但地色萌黄無地裏浅黄絹 壹ツ 但地藤色金入雲籠の丸裏右同断

一 但白黄萌黄紺格子縞裏椀海氣 壹ツ 一 同 壹ツ 但地萌黄金入裏右同断

一 縫箔小袖 壹ツ 但地色縞子唐草ニ菊水縫摺箔模様裏飛色絹 但下前之方紺地金入切継有之 壹ツ 但地紋紗紅金摺箔三ッ巴

一 但花色縞子唐草ニ菊水縫摺箔模様裏飛色絹 但下前之方紺地金入切継有之 壹ツ 但地白飛豎横縞裏萌黄絹 但兩袖損有之 一 单法被

一 但地緋縞子菊ニ桔梗籠目摺箔模様裏紅海氣 壹ツ 熨斗目 壹ツ 但紋紗紫銀摺箔浪の丸 但裾ニ切継有之

一 子方箔小袖 壹ツ 御次前 壹ツ 但地萌黄かすり縞肩袖ニ赤大筋有之腰明白裏白絹 御召料

一 但地絹浅黄光琳梅摺箔模様振袖裏紅絹 壹ツ 一 同 壹ツ 但紺地金入亀甲桐のとう軍配团扇模様裏紫海氣

一 但地飛紗綾黒菊水縫惣模様振袖裏紅絹 壹ツ 但表萌黄裏紫絹 壹ツ 真紅紐付

一 但袖切継有之 壹ツ 御召料 壹ツ 但赤地金入裏紫絹装束白綿打

一 但地純子飛色花輪違菊花菱摺箔惣模様振袖 壹ツ 長絹 壹ツ 但地洞織黄色牡丹南天垣葛之模様金入織物紐真紅

一 同 壹ツ 但赤地金入裏紫絹装束白綿打 壹ツ

一 同 壹ツ

一 同 壹ツ

一 同 壹ツ

一 同 壹ツ

一 同 壹ツ

一 同 壹ツ

一 同 壹ツ

一 同 壹ツ

一 同 壹ツ

一 同 壹ツ

一	但紺地金入水車二巴裏紫絹装束真紅蛇腹	一	水衣	一	但地右同断白糸打紐付	一	但少シ損有之
一	同	一	但地煎黄柄茶	一	同	一	壹ツ
一	但地花色金入裏藤色絹装束真紅	一	同	一	但地右同断紐白綿打	一	但所々損有之
一	同	一	但紋紗栴色	一	同	一	壹ツ
一	但地白金入裏右同断装束右同断	一	同	一	但地右同断紐綿打	一	但所々損有之
一	单狩衣	一	但地黒煎黄色大損	一	同	一	壹ツ
一	但地色萌黄六文銭御紋織入唐草八重梅桜松葉	一	舞衣	一	但表木綿裏絹紐萌黄綿打	一	壹ツ
一	同	一	但地紗藤色牡丹唐草	一	白の大口	一	壹ツ
一	同	一	御召料	一	但表裏木綿紐綿打	一	壹ツ
一	但地藤色六文銭御紋織入唐草銀摺箔装束白蛇腹	一	半切	一	指貫	一	壹ツ
一	同	一	但萌黄地金入稻妻形裏鳶色麻紐白絹操糸萌黄綿打	一	但藤色藤之丸織入裏紫絹	一	壹ツ
一	但地萌黄亀甲桐のとう丸織入装束浅黄糸打	一	半切	一	側次	一	壹ツ
一	寄狩衣	一	但地紺地縹珍亀甲織入裏白絹紐白絹操糸紅綿打	一	但紺地純子三ツ巴二寿之字金銀摺箔裏紫絹	一	壹ツ
一	御召料	一	但地紺地縹珍亀甲織入裏白絹紐白絹操糸紅綿打	一	同	一	壹ツ
一	絁水衣	一	同	一	但地右同断梅桜の花金銀摺箔裏右同断	一	壹ツ
一	但地紗白	一	但紺地金入亀甲之織物裏藤色麻紐白絹操糸飛色綿打	一	同	一	壹ツ
一	寄水衣	一	同	一	但萌黄純子花扇金銀摺箔裏右同断	一	壹ツ
一	但地寄織飛色	一	但赤地金入獅子牡丹丸裏藤色龍門紐白綿打	一	但黄色金入紅唐草裏右同断	一	壹ツ
一	寄水衣	一	同	一	絁掛素袍	一	壹ツ
一	但地寄織黄色	一	但赤地金入稻妻雨龍車の惣模様裏紫絹紐紅紗綾	一	但地寄織萌黄	一	壹具
一	同	一	御召料	一	素袍	一	壹具
一	但地同断白	一	紅の大口	一	但地麻水浅黄紋所蔓花菱	一	壹具
一	同	一	但地精好真紅紐付	一	同	一	壹具
一	但地同断萌黄	一	右同断	一	但同断茶返シ紋所松川菱緑雪	一	壹ツ
一	同	一	紫の大口	一	同上斗	一	壹ツ
一	但地同断黄柄茶	一	但地右同断萌黄紐付	一	但同断紺紋所丸之内菱之葉	一	壹ツ
一	同	一	紅の大口	一	同	一	壹ツ
一	但地同断赤飛	一	但地精好紐紅綿打	一	但同断黒松二笹の形付紋所松川菱	一	但切レ損有之
一	同	一	萌黄大口	一	同	一	壹ツ
一	但地同断柿色	一	但地右同断紐萌黄綿打	一	但同断染色浅黄二青茶形付紋所舞鶴	一	壹ツ
一	太絁水衣	一	御召料	一	素袍上斗	一	壹ツ
一	但地紗煎菜茶	一	白の大口	一	但地麻染色浅黄紋所牡丹花	一	壹ツ

一 直垂 壹具 壹ツ 地白木綿御襟花色絹壹重白絹式重都合三重付 一 沙門帽子 壹ツ

一 但麻萌黄舞鶴之形付裏白練絹 右何れも袖無之古ク罷成御垢附 一 但紺地金入牡丹亀甲の模様裏紫絹 壹ツ

一 木綿胴着(付箋)「ナシ」 小以 一 但唐草模様黒純子裏萌黄海氣 壹ツ

一 但白地綿入 一 襟 但地麻襟白羽二重袖無之所々損有之 四ツ 一 長範頭巾 壹ツ

一 絹胴着 但右同断 一 同 但地麻襟浅黄羽二重袖無之 壹ツ 一 但鉢紺地金入三枚鍔紅黄柄茶白地金入裏紺玉虫 壹ツ

一 郡内縞袷 一 同 但地麻襟浅黄羽二重袖無之 壹ツ 一 茶色系打紐付 壹ツ

一 内 一 襟 但地麻襟黄羽二重袖無之 壹ツ 一 但萌黄地金入 壹ツ

一 壹ツ 裏浅黄絹 但式ツ共裏古仕立直シ 一 同 (付箋)「無」 壹ツ

一 壹ツ 裏茶色絹 但式ツ共裏古仕立直シ 一 同 (付箋)「無」 壹ツ

一 小以 一 同 但地麻糸り紅絹袖無之 五ツ 一 但赤地金入 但此鉢巻二而打杖卷二先年より 壹ツ

一 小以 一 同 但地木綿四ツ晒麻壹ツ 一 御次前 相用申候 壹ツ

一 壹具 紋所古文字 一 内訳 一 白絹鉢巻(付箋)「調 ナシ」 壹筋

一 壹具 同断丸之内鷹之羽 一 壹ツ 地色浅黄糸り紅絹 一 色鉢巻 (付箋)「調無」 壹ツ

一 壹具 同断三ツ巴 一 壹ツ 右同断糸り黄色絹 一 但地紅練絹朝□の縫唐草摺箔 壹ツ

一 壹具 同断酸漿 但四具共切付紋 一 壹ツ 右同断糸り椀色絹 一 白鉢巻 (付箋)「ナシ」 四ツ

一 小以 一 小以 地晒麻糸り浅黄絹 一 壹筋 但地練絹白 拾壹筋

一 御召 一 御次前 一 白麻襟 壹ツ 紅練絹鱗形の縫結熨斗摺箔 壹筋

一 白長御下着 四ツ 但糸り白絹 一 白練絹朝□之縫 壹筋

一	但緋縹子三ツ巴紺糸縫	三筋	壹筋 紺地縹珍	一	同	(付箋)「調無」	壹ツ
一	同	三筋	壹筋 萌黄地縹珍	一	但赤地金入	(付箋)「無」	壹ツ
一	内		壹筋 紫地縹珍	一	赤地金入ばさら	(付箋)「無」	壹ツ
一	壹筋 地純子黄色紋から織物		小以	一	御鳥帽子	(付箋)「ナシ」	箱入壹ツ
一	壹筋 地縹珍石同断	一	同	一	但さで式ツ御紐留壹本紫綿打紐壹組添		五ツ
一	小以	内	内	一	鳥帽子	(付箋)「無」	五ツ
一	腰帶	三筋	壹筋 紺地純子	一	但黒塗	内三ツ綿打紐附	壹ツ
一	内		壹筋 花色地同断	一	静鳥帽子		壹ツ
一	壹筋 浅黄純子		式筋 萌黄地同断	一	但金地綿打紐附		壹ツ
一	壹筋 綿純子		小以	一	翁鳥帽子	(付箋)「調ナシ」	箱入壹ツ
一	小以	壹筋	腰帶	一	風折鳥帽子	(付箋)「調無」	壹ツ
一	同	壹筋	但地白紗綾紅糸二而丸二桔梗の縫	一	金風折	(付箋)「調無」	壹ツ
一	同	壹筋	同	一	但紫綿打紐添		壹ツ
一	内		内	一	初冠	(付箋)「調無」	壹ツ
一	壹筋 地絹摺箔朝□の模様縫		壹筋 紺地金毛織	一	但紫掛緒附海老髭添御綏挿板有之		壹ツ
一	壹筋 地同断桜の模様縫		壹筋 鶯色石同断	一	透冠	(付箋)「調ナシ」	壹ツ
一	小以	式筋	小以	一	但紐白綿打		壹ツ
一	同		紅段 (付箋)「ナシ」	一	唐冠	(付箋)「調無」	壹ツ
一	内		但海気縞	一	但紐萌黄綿打		壹ツ
一	壹筋 浅黄地縹珍花輪違の模様縫		白縮緬御胸当 (付箋)「ナシ」	一	天冠	(付箋)「調無」	壹ツ
一	壹筋 右同断鉄線の模様縫		腰挟 (付箋)「無」	一	但真鍮色付紐紫綿打		壹ツ
一	小以	七筋	内	一	大兜巾	(付箋)「調無」	壹ツ
一	同		式ツ 木綿	一	但紺地金入切レ仕立紺綿打紐附		壹ツ
一	内		式ツ 麻	一	大兜巾	(付箋)「調ナシ」	壹ツ
一	壹筋 白地縹子朝□の模様縫		小以	一	但緞子仕立白綿打紐附		壹ツ
一	壹筋 白地縹子石畳の模様縫		白縮緬紐	一	同	(付箋)「調ナシ」	壹ツ
一	壹筋 右同断鱗形の模様縫		但丸くけ	一	但釘銅細仕立紐石同断		壹ツ
一	壹筋 右同断藤棚の模様縫		丸くけ	一	黒頭		壹ツ
一	壹筋 右同断浪の丸二壹ツ釘抜花輪違の模様縫		但地白絹	一	但紐紺綿打縁り金入	少シ損有之	壹ツ
一	壹筋 白地縹子銀杏の葉模様縫		御次前	一	黒垂		壹ツ
一	壹筋 白地純子浪の丸模様縫		白絹丸くけ	一	白紙折手本	(付箋)「調無」	壹本
一	小以		上頭掛 (付箋)「調ナシ」	一	丸薄挽盆	(付箋)「調無」	壹枚
一	腰帶	三筋	但萌黄地金入	一	尉髪		式ツ
一	内						

- 一 赤頭 (付箋)「調ナシ」 壹ツ 友閑作 元利作
- 一 但縁り金入紐綿打 麻袋入 小面 蟬丸
- 一 白垂 但縁り金入 壹ツ 若狭作 近江作 不出来二
- 一 姥髪 但損有之 貳ツ 相見候由 曲見
- 一 髷 貳包 近江作 不出来二相見候由 作不知
- 一 内 深井 大癒見
- 一 壹ツ 長かもじ 作不知 但裏二印有之方
- 一 壹ツ 紐付かもじ 瘡男
- 一 小以 五ツ 但左之方眉毛之下二疵有之
- 一 鬢 但女鬢喝食髮共 右拾五面享和二戌年四月西村小十郎江被
- 一 鳥兜 (付箋)「調無」 壹ツ 仰付面打出目仲江為見相極ル
- 一 但萌黄紅白紺黄色染分金入真鍮紋所附裏紅絹 近江作 井七キ作
- 一 綿打紐附 少尉 大飛出
- 一 篠掛 (付箋)「調無」 壹ツ 甫閑作 榮満元利作
- 一 腰篋 (付箋)「調無」 壹ツ 小飛出 深井
- 一 但麻白花色染分 壹足 作不知宜相見候由 但印無之方
- 一 革御足袋 (付箋)「ナシ」 四本 長靈 黒髭
- 一 腰蕨手 (付箋)「無」 貳拾八 作不知甚不出来二相見候由 作不知甚不出来二
- 一 内訳 洞水作 喝食
- 一 元利作 般若 耶鞆男 相見候由
- 一 笑尉 但形違之笑尉之類二候由 二代目元休満茂作
- 一 是閑作 泥眼 小癒見
- 一 但彩色下地損有之 右拾面同年同月西村小十郎江被 仰付
- 一 是閑作 見事二相見候由 甫閑作 公儀御地謡日吉甚四郎江為見相極ル
- 一 近江女 近江女 小面 (付箋)「調無」 小面
- 一 洞水作 真角 小面 (付箋)「調無」 小面 七月廿二日出ス
- 一 中将 但新敷相見候方 小面 (付箋)「調無」 小面 深井印有之方
- 一 赤頭 小以 太刀 但柄系萌黄下緒紺系打 損有之 (付箋)「以下壹」
- 一 太刀 但柄系萌黄下緒紺系打 損有之 (付箋)「以下壹」 壹腰
- 一 小サ刀 (付箋)「調ナシ」 壹腰
- 一 但中身鯨箔付柄白鮫損シ有之目貫真鍮屋形船弁 竹箔付小刀丹波守吉道小柄真鍮下緒媚茶系打鞘
- 一 結髮斗萌(蒔)絵 太刀 壹腰
- 一 但舟斗箔付 劍 (付箋)「調ナシ」 貳本
- 一 内 壹本 鯨
- 一 壹本 木
- 一 小以 長刀 (付箋)「調ナシ」 壹振
- 一 同 (付箋)「調ナシ」 壹振
- 一 但中身鯨箔付切羽鍮鏝銅胴ノ真鍮銅具物打 烏帽子抑柄松木石突銅 但損有之
- 一 木鎌 (付箋)「調ナシ」 壹挺
- 一 但箔付 打杖 壹本
- 一 但色鉢卷二而卷有之 羽団扇 箱入壹本
- 一 唐団扇 但損有之 壹本
- 一 弓袋 但緋純子裏浅黄麻紅浅黄打交紐付 壹ツ
- 一 守袋 (付箋)「調ナシ」 壹ツ
- 一 珠数 (付箋)「調ナシ」 三連
- 一 但飭煉物玉総紅黄浅黄打交 同 (付箋)「調ナシ」 壹連
- 一 但飭水晶総真紅 (付箋)「一本」 貳本
- 一 但所々虫喰有之

一	短冊紙	(付箋)「二本」	貳枚	一	作り物麻切	(付箋)「調ナシ」	壹包	一	壹ツ	同断栗梅大竹の模様紋所縁雪齋
一	巻経	(付箋)「調ナシ」	壹本	一	但数拾八筋	但切々損シ有之	壹ツ	一	壹ツ	同断花色欄干橘の模様紋所右同断
一	網	(付箋)「調ナシ」	壹張	一	赤白之革御沓	(付箋)「調ナシ」	壹足	一	壹ツ	地麻浅黄雲屋りの模様紋所縁雪齋
一	但紅絹糸張竹添	但大損シ	壹張	一	屋祢絹	但緋純子惣縁り紅紋紗	壹枚	一	壹ツ	地同断媚茶瓜蔓の模様紋所右同断
一	邯鄲の枕	(付箋)「調ナシ」	壹張	一	但緋純子惣縁り紅紋紗		壹枚	一	壹ツ	少シ損有之
一	但地緋純子葡萄唐草押絵模様		壹ツ	一	屋祢絹		壹枚	一	壹ツ	地同断萌黄鞞草杉菜野馬の模様紋所右同断
一	木鏡	(付箋)「調ナシ」	壹ツ	一	但赤地金入壹布半縁り紅絹裏すみる茶絹		壹枚	一	壹ツ	地同断黒柿額二竹垣の模様紋所右同断
一	但箔付		壹ツ	一	但右同断式尺四方程裏白絹		壹枚	一	壹ツ	地同断栗梅こぼれ松葉の模様紋所右同断
一	饒鉢	(付箋)「調ナシ」	壹ツ	一	但右同断式尺四方程裏白絹		壹枚	一	壹ツ	地同断白唐松二鯉の瀧上りの模様紋所右同断
一	但箔付		壹ツ	一	同		壹枚	一	同断	
一	舍利	(付箋)「調ナシ」	壹ツ	一	但右同断裏すみる茶絹		壹枚	一	壹ツ	地同断薄柿若松二裏白の模様無紋
一	龍台		壹ツ	一	輿絹		壹枚	一	壹ツ	地芭蕉布紺額の模様紋所縁雪齋
一	但損有之		壹ツ	一	但表綿錦牡丹の模様裏浅黄麻		壹枚	一	壹ツ	地同断薄柿蕨の模様紋所右同断
一	鍬形		貳枚	一	揚ヶ幕	堅拾式布上之方横江壹布	壹張	一	壹ツ	地麻黒木賦形付浅黄染入紋所右同断
一	金札	(付箋)「調ナシ」	壹枚	一	拾式布江通し		壹ツ	一	壹ツ	地同断□浅黄□□□紋所右同断
一	松明	(付箋)「調ナシ」	壹本	一	但茶色紋純子御紋六文銭織入手繩綿打紅白打交		壹ツ	一	壹ツ	地同断青茶形付紋所右同断
一	立物狐		壹ツ	一	但安永九子年十二月所々損御座候付端之方堅		壹ツ	一	壹ツ	地同断花色松二下り藤の模様
一	立物龍		壹ツ	一	四寸切詰損結仕候		壹ツ	一	壹ツ	地両麻浅黄崩瓦の模様紋所縁雪齋
一	但箔付		壹ツ	一	同		壹張	一	小以	
一	亀	(付箋)「調ナシ」	壹ツ	一	長六尺五寸四方		壹張	一	(付箋)「此分合 大正七 八月廿九日□一枚過」	
一	水桶	(付箋)「調ナシ」	貳ツ	一	但紺地純子裏茶色手繩綿打交	少シ損有之	壹ツ	一	(付箋)「以下三具共大損御用不申候 安政四巳年五	
一	但地金箔付浪二貝尽シの模様真紅紐付		壹ツ	一	引廻シ		壹ツ	一	月御能御用之節改此段望月主水殿御承知」	
一	但式ツ共損有之		壹ツ	一	但純子五布上之方壹布		壹ツ	一	狂言長上下	
一	擔桶	(付箋)「調ナシ」	貳ツ	一	同		壹ツ	一	内 (付箋)「二□ 否大正七年□」	
一	御鏡	(付箋)「調ナシ」	壹面	一	但地色萌黄形付木綿六布		壹ツ	一	壹具 地麻青茶形付紋所縁雪齋	
一	但□□□式寸七分 中島和泉守藤原定次与		壹面	一	台掛		壹ツ	一	壹具 地同断柿色形付紋所右同断	
一	裏六文銭御紋附 銘有之 但革袋入		壹面	一	但花毛氈惣縁り純子		壹ツ	一	小以	但大損有之
一	(付箋)「安政四巳年五月 御用ニ付御側御納戸江相渡		壹面	一	小以		壹ツ	一	狂言長上下	壹具
一	尤小鼓□賀之御用一同取出 望月主水殿承知		壹面	一	是より狂言之巻		壹本	一	但地両麻青茶形付	但大損有之
一	床机	(付箋)「調ナシ」	貳脚	一	羽団扇		拾七	一	狂言袴	七下り
一	但春慶塗腰掛之所花色形付麻		貳脚	一	狂言肩衣		拾七	一	内	
一	釣糸	(付箋)「調ナシ」	貳筋	一	内		拾七	一	式下り	地同断浅黄紋尽シの模様
一	但木綿糸打		貳筋	一	壹ツ	地麻黒若松の模様紋所九曜	拾七	一	式下り	地同断浅黄紋尽シの模様

式下り 地同断柿色紋尽シの模様
壹下り 地同断花色紋尽シの模様

一 狂言頭巾 式ツ

内
壹ツ 紺玉虫海氣裏白麻
壹ツ 萌黄海氣裏同断

一 居喰頭巾 壹ツ

一 但狸々緋縁り白地金入
能力頭巾

一 但地麻黄色縁り赤地金入
けんび頭巾 壹ツ

一 但地麻黒柿縁り萌黄地金入
頭巾 (付箋)「調無」 壹ツ

一 但地浅黄縞子
同 壹ツ

一 但地黄色綿純子縁り萌黄純子
腰桶 (付箋)「調無」 壹ツ

一 但六角形春慶塗蓋共
木庖丁 (付箋)「調ナシ」 壹枚

一 但俎板共
木箸 式膳
木槌 式挺

一 式百三拾式筆

右御道具帳去丑五月中焼失二付、此度御品江引合新規
御道具帳相仕立候処、如斯御座候以上

元メ新
柳沢 丈之助 ㊦

在府無印 同
仙仁 洋七

右之通御道具帳相違無御座候以上

嘉永七寅年十一月 飯島 與作 ㊦
綿貫 泰蔵 ㊦

病氣無印 與良四郎左衛門
在府無印 金井弥惣左衛門

坂口 又治 ㊦
堀田 速見 ㊦

右御勘定相違無御座候以上
片桐 総左衛門 ㊦
高坂 恒作 ㊦

右之通立合相改相違無御座候以上
卯六月 草間 元司 ㊦
長谷川 藤蔵 ㊦

立合 長谷川 甚大夫 ㊦

一 大鼓 (付箋)「□□」 壹箱

内 (付箋)
胴 壹ツ 「此分寺内俊樹拝借」
皮 壹組 ノ俣焼失ト言フコト

志らへ 壹組 河原氏ノ談」
胴繩 壹組
小紐 壹組

小以
右者安政元寅年十二月十二日矢野倉謙兵衛内献上二付
御用番小山田壹岐断

池田 喜祖丞 ㊦
奥村 弥左衛門 ㊦

元メ
小鼓中紅調 (付箋)「調ナシ」 壹掛
右者安政三辰年十二月御買上御勘定帳より引取

一 中啓 五本
池田 友十郎 ㊦

三番目物 壹本
間の物 壹本
修羅物 壹本

脇物 式本
小以

一 御面紐 七掛
但紅壹掛 かは色式掛 黒三掛 白壹掛

小以
小はさミ (付箋)「調ナシ」 壹挺
装束針 (付箋)「調ナシ」 三本

一 釣糸 (付箋)「大正□□□□」 式筋
但白木綿打紐
小以五筆

右者安政四巳年閏五月御買上御勘定帳より引取
(付箋)「改メ式百三拾六筆」

池田 友十郎 ㊦

箱・包・袋貼紙	タグ・付箋	旧ラベル	真田家所蔵楕円ラベル	備考
天真院様 松時絵御鼓箱之内 桜鳴子時絵御筒 多武峯折居作 / 楽 器時絵御筒 宗能作 / 亀時絵御筒 安房作 / 尾長鳥時絵御筒 折居 / 極 札式包 / 御調緒弔筋 / 御小紐三筋 / 御留緒弔筋 / 御鼓裏張革壺包	多武峯折居作 桜鳴子調子宜			
天真院様 一鬼瓦時絵御筒 / 一水仙 時絵御筒 / 一志賀時絵御筒 / 一稲鳴 子時絵御筒				
	袋付箋「尾長鳥」			包「御裏張革」付属、 金銭出納書4枚同梱、 「御側御納戸日記」断簡 か?一枚添
	袋付箋「亀筒安 房作」			別旧ラベル「190号 小鼓筒 楽器時絵 蓑 亀時絵」/「幸小右衛門 /宗能(花押)」(筒内部 金泥書)
				「トハメ」(筒内部墨書)
(箱側面貼紙) 能中啓類笥				
	(小型丸ラベル) 「能 壹」(写真 1)	(朱印)「能楽」[第一號 / 一番倉庫階上 / 甲號タンス / 引出 / □□唐織]		
	(小型丸ラベル) 「能 二四」	(朱印)「能楽」[第二四號 / 一番倉庫階上 / 甲號箆笥四 / 引出 / カリギヌ狩衣] (朱印)「能楽」[第二五號 / □□… / 狩衣]		
	(小型丸ラベル) 「能 六二」	(朱印)「能楽」[第二三號 / 一番倉庫階上 / 甲號箆笥四 / 引出] [□□ 半切]		
		(朱印)「服飾」[第二四號 / 三番倉庫階上 / 三號長棹 / 黒地輪ナシ書文 / 夏 / 袍] (朱印)「服飾」[第二五號 / 三番倉庫階上 / 三號長棹 / 黒地輪ナシ書文 / 夏 / 袍]		
		(朱印)「茶器」[第六九 / 一〇八 / 一〇九 號 / 三番倉庫階下 / 二號棚 合同箱 / 六九、方齊作 蕨模様俱利茶箱 / 一〇八、 黒釉茶壺 浅黄型付縮緬包 / 一〇九、褐 釉瀬戸茶壺 更紗袋入]		
				これとは別に、能楽 14 ~ 17 の現用ラベルが貼 られた合同箱がある。

能楽・楽器 資料データ

収蔵番号	現用ラベル記載資料名	現用ラベル記載収納場所	箱書	包・袋書
能001	小鼓筒 二挺 盲折居作桜鳴子蒔絵一 / 作者不明 右同一 皮 一張添 二重箱入	第三番倉庫階上十七号長棹		
能002	幸弘公所用 小鼓筒 四挺箱入 黒鬼瓦蒔絵 一 / 梨子地水仙蒔絵 一 / 黒地桜井桁蒔絵 一 / 黒地稻鳴子蒔絵 一	第三番倉庫階上十七号長棹		
能003	小鼓筒 一挺箱入 梨子地尾長鳥蒔絵 / 皮 四張 添	第三番倉庫階上十七号長棹		
能004	幸弘公所用 小鼓筒 一挺箱入 / 七五三(しめ)蒔絵 / 皮 一張 調(紐)添	第三番倉庫階上十七号長棹		
能005	幸弘公所用 小鼓筒 一挺箱入 / 黒塗鳥兜蒔絵 / 皮 一張調添	第三番倉庫階上十七号長棹		
能006	小鼓筒 二挺箱入 / 楽器蒔絵 幸小右衛門作 / 蓑亀蒔絵 伝阿波作 / 皮一張添	第三番倉庫階上十七号長棹		
能007	大鼓筒 / 黒塗銀杏梅蒔絵 / 皮一張調(紐)添	第三番倉庫階上十七号長棹	「大鼓」	
能008	大鼓筒一 小鼓筒一 計二挺 / 黒塗稽古用 皮二張添	第三番倉庫階上十七号長棹	「大鼓 小鼓 稽古筒 / 御香之書」	
能009	中啓(舞扇)五本 金地藤花の絵 / 金地貝の絵 / 金地金花鳥絵 / 金地柳に鶯の絵 / 金地花の絵 合同箱入	第三番倉庫階上十七号長棹	(箱蓋表)「能道具 / 表御納戸」(箱蓋裏)「安政四丁巳年五月御出来 / 舞扇 五本 / 内 / 三番目物 一本 / 間之物 一本 / 修羅物 一本 / 脇物 二本 / 面紐 七組 / 鉄一挺 / 針 三本 / 戊年七月上箱出来 飯島勝休 / 綿貫盛信 / 與良勝利 / 坂口義禮 / 原 正敬	「修羅物」 / (朱印)「御舞扇子」 / (黒印)「御装束師 関岡」 「三番目物」 / (朱印)「御舞扇子」 / (黒印)「御装束師 関岡」 「金地金花鳥五中三 修羅物 三番目物間」 / (朱印)「御舞扇子」 / (黒印)「御装束師 関岡」 「無地柳に鶯の絵五中四 わき式本の内」 / (朱印)「御舞扇子」 / (黒印)「御装束師 関岡」 「無地花の絵五中の五 次物式本の内」 / (朱印)「御舞扇子」 / (黒印)「御装束師 関岡」
能010	狂言中啓四 笹の絵二本 / 銀地二本 合同箱入	第三番倉庫階上十七号長棹		
能011	お能ふせ 箱入 帖一 木ふた多数	第三番倉庫階上十七号長棹	「御能ふ勢」	
能012	幸忠公(八代養子)所用 龍頭箱入	第三番倉庫階上十七号長棹	(箱蓋表)「圓明院様 龍御前建物」(箱蓋裏)「天保十五年癸辰六月御繕」	
能013	能薙刀 二中一 能薙刀 二中二	第三番倉庫階上十七号長棹 第三番倉庫階上十七号長棹		
能014	能装束信弘公所用 唐織 合同箱 金地菊水模様	第三番倉庫階上十七号長棹		(包紙)信弘公御召料 唐織 外箱アリ別二保存ス / 能第壹號
能015	能装束信弘公所用 狩衣 合同箱 縹色金法僧華模様	第三番倉庫階上十七号長棹		(包紙)「狩衣」能 第廿三號 第廿四號 (朱線見消し)
能016	能装束信弘公所用 半切 合同箱 赤地獅子模様	第三番倉庫階上十七号長棹		(包紙)「半切」能六十二號 (朱線見消し)
能017	能装束 夏衣 合同箱 紹黄地花模様	第三番倉庫階上十七号長棹		(包紙・全体に紙が貼られている)「御當用分 御在所廻り / 御夏袍 一領 / 日本橋通壹町目 御装束所 白木屋彦太郎」
番外	(能面箱)		図版ページ 参照	
番外	(唐織箱)		(箱蓋表)「乾徳院様 御召 / 能御裏朱唐織」(チヨーク書)「空箱」(箱蓋裏)「元文三戊午八月改」	

収蔵番号	現用ラベル記載資料名	現用ラベル記載収納場所	箱書	包・袋書
楽001	幸弘公所用 琵琶 箱入 撫子 模様袋入 撥添	第三番倉庫階上西側単筒上		
楽002	琵琶 箱入 撥面黒革金猫虎の 絵 / 撥添	第三番倉庫階上西側単筒上	下御土蔵入 琵琶上 箱	
楽003	琵琶 撥面松皮印伝 撥添	第三番倉庫階上十八号長棹		
楽004	月琴 面彫物があり 紫紐付	第三番倉庫階上十八号長棹		
楽005	月琴 緑紐付	第三番倉庫階上十八号長棹		
楽006	笙			
楽007	笙 匏黒塗桜花流水時絵 / 中袋 白地金欄牡丹時絵 / 外袋白地錦 紫紐	第三番倉庫階上十九号長棹	(箱蓋表)「笙」	
楽008	箏 一箱入 家扇形 亟一個 空箱	第三番倉庫階上十九号長棹		
楽009	洞簫一 箱入	第三番倉庫階上十九号長棹	「洞簫」	
楽010	洞簫箱入 松竹梅模様袋入	第三番倉庫階上十九号長棹	(箱蓋表)「洞簫 七十五松濤軒松叟」 (箱蓋裏)「時鳥啼 や寢覚の夜の友 七十六翁 立左」	
楽011	龍笛 二重箱入 翁信公所用 袋赤地錦 家黒塗南天時絵	第三番倉庫階上十九号長棹		
楽012	龍笛一笛合同 筒梨子地定紋付 袋白地桐唐草 / 龍笛袋 白地 桐唐草? 笛合同箱入	第三番倉庫階上十九号長棹		
楽013	竜笛 蟬水晶 嵌入 笛合同箱 / 龍笛筒 青貝擢地雲形時絵	第三番倉庫階上十九号長棹		
楽014	高麗笛一 笛合同箱 / 高麗笛管 青貝擢地雲形時絵	第三番倉庫階上十九号長棹		
楽015	横笛一 黒塗 / 横笛袋 紺緞子 笛合同箱入	第三番倉庫階上十九号長棹		
楽016	横笛 笛合同箱 / 横笛袋 赤縞 笛合同箱入	第三番倉庫階上十九号長棹		
楽017	横笛袋入 黒塗 笛合同箱 / 横 笛袋 更紗 笛合同箱入	第三番倉庫階上十九号長棹		
楽018	和笛袋入 笛合同箱入 / 和笛袋 青地金欄 笛合同箱入	第三番倉庫階上十九号長棹		
楽019	明笛 袋 白地更紗 笛合同箱 入	第三番倉庫階上十九号長棹		
楽020	一節切袋入 銘夕霧 笛合同箱 入 / 一節切袋 紺地小花模様 笛合同箱入	第三番倉庫階上十九号長棹		
楽021	一節切 箱入	第三番倉庫階上十九号長棹	「一節切笛」	
楽022	笏拍子袋 紺地花模様緞子 笛 合同箱	第三番倉庫階上十九号長棹		
楽023	釣太鼓 火焰真鍮毛彫	第三番倉庫階上十九号長棹		
楽024	釣太鼓 金地桐に鳳凰模様	第三番倉庫階上十九号長棹		
楽025	羯鼓 箱入 金地桐に鳳凰模様 二箱中の一	第三番倉庫階上十八号長棹	「羯鼓」	
楽026	羯鼓台 紙箱入 白風呂敷入	第三番倉庫階上十八号長棹		
楽027	楽箏 中山希明作 頭尾共牙及 青貝庭濼に落花嵌入 / 琴柱添	第三番倉庫階上梁上		
楽028	楽箏 貝の雲龍刻嵌入	第三番倉庫階上梁	(箱蓋表)「龍御琴上 箱」	
楽029	和琴 中山希明作 嘉永二年二 月製作	第三番倉庫階 梁上		
楽030	和琴 大破絃もなし	第三番倉庫階 梁上		
楽031	一弦琴 桐製台付 浅黄色絹袋 添	第三番倉庫階上二十号長棹	「一絃琴」	
楽032	琴 一 箱入 幸貴公御創意 石村秀門作	第三番倉庫階上二十号長棹		
楽033	琴 二面 大黒塗唐草時絵 唐 花茶色緞子袋入 / 小 黒塗緒濃 藍入	第三番倉庫階上二十号長棹	「琴 貳箏」	
楽034	琴 柁目 二重箱入 幸正公夫 人所用 袋古代紫錦織	第三番倉庫階上単筒上		

箱・包・袋貼紙	タグ・付箋	旧ラベル	真田家所蔵楕円ラベル	備考
「30号 筑紫箏」		(朱印)「楽器」[第三〇號 三番倉庫階上 □□ (重ね貼りで見えず)]		
「31号 筑紫箏」「筑紫琴 男爵宅 へ御貸出」		(朱印)「楽器」[第三一號 三番倉庫階上 □□ (重ね貼りで見えず)]		
「半箏」		重ね貼りで見えず		
「下座御道具」				
「下座御道具」				
「下座御道具」				
「□□ / 柳川文庫」			「楽部 No一八〇」	
「楽譜」			(内箱貼)「楽部 No一八二」	
「御琴のしな」				

収蔵番号	現用ラベル記載資料名	現用ラベル記載収納場所	箱書	包・袋書
楽 035	筑紫琴 箱入 象牙寄木細工 磯鉄せん唐草蒔絵	第三番倉庫階上梁上		
楽 036	筑紫箏	第三番倉庫階上梁上		
楽 037	筑紫箏 半琴	第三番倉庫階上二十号長棹		
楽 038	下座道具 太鼓箱 太鼓、杵、 撥在中	第三番倉庫階上二十号長棹		
楽 039	下座道具 大鼓筒 黒塗桐蒔絵 /下座道具 太鼓筒箱 調(紐) 同在中	第三番倉庫階上二十号長棹		
楽 040	下座道具 小鼓筒箱入 黒塗菊 牡丹蒔絵 / 下座道具 小鼓箱 小 鼓・皮・調在中	第三番倉庫階上二十号長棹		(包紙)「色ようしき 式ツ」
楽 041	小鼓箱 籠目散蒔絵一 子蕪蒔 絵一	第三番倉庫階上二十号長棹		
楽 042	下座道具 拍子木 櫻製 風呂 敷入	第三番倉庫階上二十号長棹		
楽 043	胡弓綴文地袋入	第三番倉庫階上二十号長棹		
楽 044	稽古三味線 更紗地袋入 大破	第三番倉庫階上二十号長棹		
楽 045	楽譜 二重箱入 中箱金花鳥色 蒔絵 楽譜十一冊	第三番倉庫階上十八号長棹		
楽 046	楽譜 黒塗箱 幸貫公手沢品 楽 譜類五 琵琶の譜一 免除状五 通	第三番倉庫階上十八号長棹		
楽 047	楽譜 笙調子書物(幸貫公手澤 品)	第三番倉庫階上十八号長棹	(内箱)「笙調子御書 物入」	
楽 048	琴のしな 幸良公夫人所用 琴 曲千代の壽一 琴柱三箱 三味 線の撥一ツめ	第三番倉庫階上十八号長棹		



写真1



写真2

真田宝物館収蔵品目録

真田家旧蔵資料目録 | 能楽・楽器 |

発行 平成二十五年三月

長野市教育委員会 文化財課

松代文化施設等管理事務所

〒三八一―一二三一 長野市松代町松代四―一

(真田宝物館内)

印刷 社会福祉法人 ながのコロニー 長野福祉工場

※無断転載・複製を禁じます。

